日本バーチャルリアリティ学会大会論文集
投稿用原稿執筆要領

Instructions for Preparation of Camera-ready Manuscripts

for Proceedings of the Virtual Reality Society of Japan

バーチャル太郎1)，拡張二郎1)，現実花子2)

Taro VIRTUAL, Jiro KAKUCHOU, and Hanako GENJITSU

1) 東京大学 工学系研究科 （〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1, vrsj@star.t.u-tokyo.ac.jp）

2) 人工現実感研究所 （〒113-0032 東京都文京区弥生2-11-16, vrsjac@cyber.rcast.u-tokyo.ac.jp）

概要：日本バーチャルリアリティ学会大会論文集はカメラレディ原稿から作成されます．タイトル・発表者名・所属や本文のフォーマットについてはこのサンプル原稿に記述されている内容に従ってください．ここには250文字程度で和文要旨を書いてください．

キーワード：3～4個の和文キーワード

# はじめに

このファイルは，第23回日本バーチャルリアリティ学会大会論文集の投稿用原稿を作成するために必要とされるレイアウトやフォント等の基本的な情報が記述されている，サンプル原稿です．

原稿はA4サイズ2段組とし，2ページ～4ページにまとめてください．それ以外のページ数では受け付けられませんのでご注意ください．上下辺，左右辺ともマージンは2 cmとします．ヘッダー，フッターは設けません．文字は25文字＋2文字＋25文字の横2段組とし，50行（行間約14.4 pt）で作成してください．ページ番号は記入しないでください．

# 各部分のレイアウトとフォントについて

本サンプルファイルには，各部のフォントやインデントなどを設定した「スタイル」が定義されています．対応する「スタイル」を指定すれば，執筆要領で指定されたフォントなどが自動的に設定されます．

## タイトル部

タイトル部は例のように1段組としてください．1ページ目の左上には，日本バーチャルリアリティ学会のロゴマーク（VRSJロゴ）を縦1cm×横2cm程度の大きさになるように貼り付けてください．VRSJロゴについては，日本バーチャルリアリティ学会ホームページ (<http://www.vrsj.org/>) 等をご参照ください．また，1ページのヘッダのみに，例のように右に詰めて，「第24回日本バーチャルリアリティ学会大会論文集 （2019年9月）」とゴシック体9 ptを用いて記入してください．

また，後述する国際会議への投稿に関連して，1p目のヘッダに「This article is a technical report without peer review, and its polished and/or extended version may be published elsewhere」とTimes 8 ptで記入してください．

ヘッダより1行あけてタイトルを記述してください．タイトルはゴシック体18 ptを用い，センタリングにしてください（スタイル「タイトル」）．

2015年より英文タイトルは任意でしたが，2019年大会では国際会議ICAT-EGVEと併催することから英文タイトルを必須としました．Times 10 ptのフォントを用い，前置詞以外の単語の先頭は大文字で，センタリングにしてください（スタイル「Title」）．

1行あけて，例のように著者名を明朝体10 ptを用いて記述し，センタリングにしてください（スタイル「著者」）．英文の著者名は日本語の著者名の下にTimes 10 ptを用いて記入してください（スタイル「Authors」）．

1行あけて著者の所属を明朝体9 ptを用いて記入し，センタリングにしてください（スタイル「著者所属」）．複数の著者の所属が異なる場合には，例のように著者名に付けた片カッコ付き数字を添えて記入してください．

1行あけて和文概要を，明朝体 9 ptを用いて記入してください（スタイル「概要・キーワード」）．「概要」という文字はゴシック体にします．左右のインデントは明朝体9 ptで5文字程度になるようにしてください．次の行に3～4個の和文キーワードを例のように明朝体9 ptにて記入してください．「キーワード」という文字はゴシック体にします．

## 本文部分

キーワードの後，2行あけて本文に移ります．本文は横2段組，50行（行間約14.4 pt），明朝体9 ptで作成してください．段落冒頭は1文字分字下げします（スタイル「本文字下げ」）．

図 1: 図のキャプションは図の下に置く．図中のテキストはキャプションと同じかやや小さくなるように調整すること．

表 1: 表のキャプションは表の上に置く

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No. | Real | Estimated |
| 1 | 1.5 | 1.2 |
| 2 | 2.5 | 2.3 |
| 3 | 3.5 | 3.4 |

# 見出し（見出しが複数行に渡る場合には，このようにインデントを付ける）

## 章の見出し

見出しのレベルは3段階とし，第1レベル（章）は，上に1行あけてゴシック体10 ptにより「3. 見出し」のように記入してください（スタイル「見出し1」）．

## 節の見出し

図 2: 図のキャプションは図の下に置く

第2レベル（節）の見出しは前後に空白行を設けず，ゴシック体9 ptにより「3.2 節の見出し」のように記入してください（スタイル「見出し2」）．

### 項の見出し

第3レベル（項）の見出しも前後に空白行を設けず，ゴシック体9 ptにより「3.2.1 項の見出し」のように記入してください（スタイル「見出し3」）．

# 数式および数学記号

数式はセンタリングし，式番号はカッコ付きの通し番号で右詰めとしてください（スタイル「数式」）．

  (1)

数式の前後には1行程度の空白を設けてください．

# 図表

図表は，図1のように，本文で引用したページの，ページの四隅いずれか，または上下端に置くことを推奨します（このサンプルでは，テキストボックスを使って配置しています）．可読性の観点から，本文中の引用箇所より前のページに図を配置することや，原稿末尾に図表をまとめて置くことは避けてください．図表と本文の間には1行程度の空白を設け，図のキャプションは図の下に，表のキャプションは表の上に置いてください．図番号，表番号は通し番号とし，ゴシック体9 ptで記入してください（スタイル「図表番号」）．

# 最終ページのレイアウトと参考文献

最終ページは左右の段落ができるだけ揃うように調整してください．参考文献は出現順に番号を付け，該当個所に [1][2][3][4] のように鍵括弧で指示してください．

参考文献の引用リストは例を参考にして，文末に1行あけ，ゴシック体10 ptセンタリングで「参考文献」と記した後に，番号順に記入してください．姓名の記法や誌名巻号の略記法など形式について厳密な指定はありませんが，リストの中で統一を取るようにしてください．

# PDF出力

原稿はPDFにて投稿してください．投稿前に，

* 書式の乱れがないか
* 参照文献番号があっているか
* 画像は印刷に耐えうるクオリティか
* A4サイズになっているか
* 白紙ページがないか
* 規定ページ数に収まっているか

などを必ず確認してください．

また，出版プロセスでPDFを加工（ノンブル付与）するため，PDFのセキュリティなどは解除いただく様お願いいたします．

# むすび

この原稿は Microsoft Word を用いて作成したものです．この原稿は本執筆要領に基づいて作成されたサンプル原稿の一つであり，本ファイルを使用する義務はありません．また，本ファイルを使用することで発生するいかなる不具合についても対処することはできません．

謝辞　謝辞は結論の後に書いてください．

付録　付録は参考文献の前に書いてください．

参考文献

1. バーチャル太郎，現実花恵：日本バーチャルリアリティ学会大会論文集の書き方，日本バーチャルリアリティ学会第1回大会論文集，pp. 1–2, 1996.
2. バーチャル太郎，現実花恵：日本バーチャルリアリティ学会投稿論文の書き方，日本バーチャルリアリティ学会論文誌，Vol. 1, No. 2, pp. 201–206, 1996.
3. バーチャル太郎，現実花恵：日本バーチャルリアリティ学会解説の書き方，日本バーチャルリアリティ学会誌，Vol. 2, No. 4, pp. 11–16, 1997.
4. 人工現太郎，実 感子：日本バーチャルリアリティ学会大会論文の書き方，日本バーチャルリアリティ学会大会論文集，Vol. 4, pp. 1–2, 1999.